



鹿島中学校だより 葉月
和・輪・我 8月
 平成21年8月発行
 薩摩川内市立鹿島中学校

「ふるさともしどき・・・鹿島」

校長 河野 通芳

小学校時代のわずかの期間を過ごしただけの鹿児島に、「ふるさともしどき」と呼んで強い愛着をもっていたのは、脚本家でエッセイストとしても有名だった向田邦子さんでした。

さつまあげ、かるかん、じゃんぼ餅など、食べ物が多い鹿児島ゆかりのものは、東京生まれで父の転勤に従って全国を転々とした向田さんにとって、鹿児島の郷土色あふれる食べ物が、強烈な印象を残したことを物語っています。

「地域がくれたこの元気 今度は僕からプレゼント」

佐世保から来たウミネコ留学生が作った県民週間の標語です。雄太君はこの標語で県の特選を受賞しました。見知らぬ土地に来て不安もあったと思いますが、その気持ちを振り払って、勉強に部活に元気にがんばる雄太君のファイトが伝わってきます。

雄太君に限らず鹿島の小・中学校には、鹿島が生まれ故郷でない子どもたちが、多く通っています。鹿島の人たちの温かさに生まれ元気にがんばっている彼らは、やがて大人になってキビナゴや水イカを食べたら鹿島のことを自分の「ふるさともしどき」として思い出すのでしょうか。

鹿島のすばらしさは食べ物だけでなく、自然、歴史、そしてなによりそこに住む人々の人情です。子どもたちに、自分のふるさとのような素晴らしい思い出と、ここでしか味わえない経験を数々を与えていくためにも、職員一丸となってがんばっていききたいと思います。

新型インフルエンザへの対応

新型インフルエンザが流行しています。本校でも、流行を防ぐために、以下のような取組を行っています。

- ① 登校時・校舎外での学習後・給食前には、消毒液で手を消毒する。
- ② 担任による念入りな健康観察や換気を実施する。まず、予防することが大切です。ご家庭でもしっかりとした対策をお願いいたします。

少年消防クラブ研修会

本校では、生徒に防火防災への関心を高めてもらうために、平成3年に鹿島少年消防クラブを結成し、月1回（第三金曜日）拍子木を打ちながら地域住民に防火防災を呼びかけるための夜警を実施しています。

今回の研修会は、鹿島少年消防クラブの活動の一環として、8月21日、薩摩川内市消防局下甌分駐所の隊員の指導の下、心肺蘇生法とAED使用法を実施しました。当初模型を使って



AEDの使用法の実技

の実技に、生徒は戸惑っていましたが、次第にスムーズにできるようになっていました。

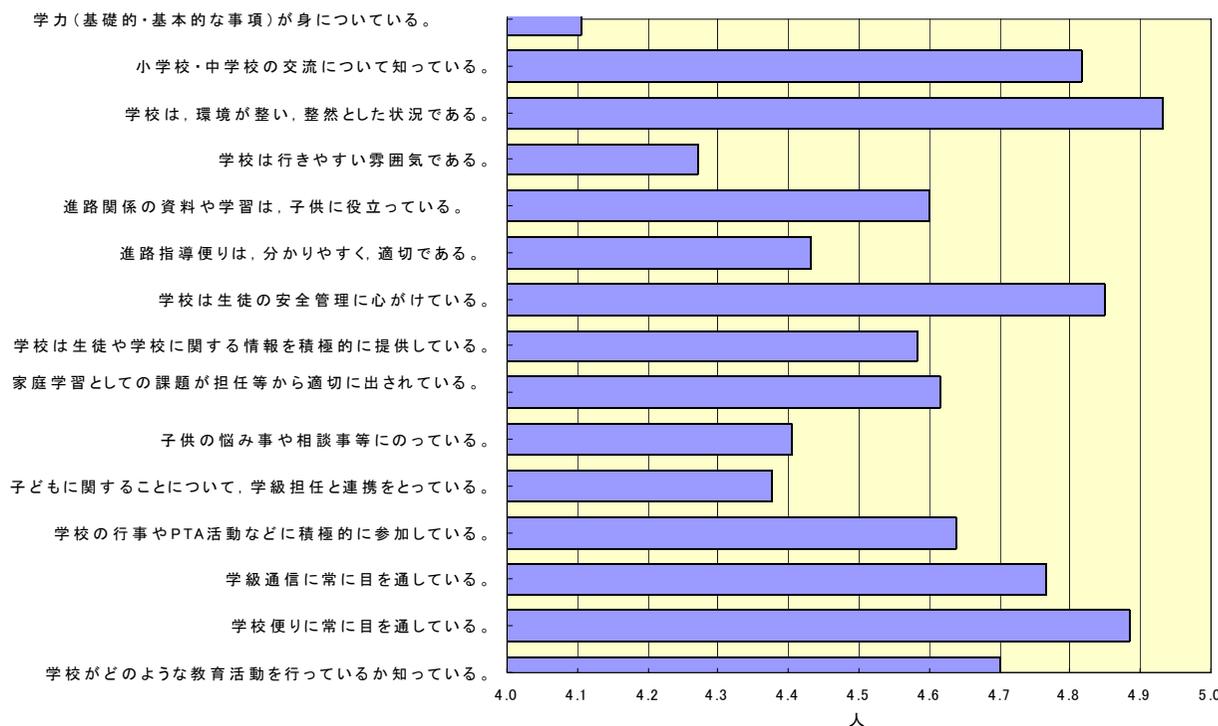
人命を守るためには、できるだけ早い救急処置が必要です。もしもの場合には、今回の講習を役立ててほしいものです。



心肺蘇生法の実技

第1学期保護者による学校評価

学校教育へのアンケート(保護者)結果



9月の生活努力目標

一事徹底事項 「目指せ 忘れ物0」

- ・ 忘れ物をしないよさを実感する。
- ・ 自分にあった忘れ物防止策を考える。



9月の主な行事予定

- 2日(水) 実力テスト(～3日)、トンネル見学会
- 7日(月) 純心大学インターンシップ(～11日)
- 9日(水) 栄養教諭食育指導
- 10日(木) 第2回元気塾 講師:宮崎緑さん
- 13日(日) PTA奉仕作業
- 14日(月) いじめ問題を考える週間(～18日)
- 18日(金) 体育大会予行練習(5・6校時)
- 19日(土) 鹿島地区敬老会
- 25日(金) 納金日
- 26日(土) 小・中・地域合同体育大会
- 28日(月) 体育大会振替休日
- 29日(火) 第3回元気塾 講師:早水勉先生
- 30日(水) 校内弁論大会(5・6校時)



1学期末、保護者の方に本校の教育活動に関する評価を行っていただいた結果が、左のグラフ(一部抜粋)です。

それぞれ5点満点での評価でしたが、すべての項目が4点以上でした。このことから、本校の教育活動が適切に進められていると考えられます。

個別の項目を分析すると、「学力が身につけていない」や「悩み事の相談に乗っている」等の評価が低いことが分かります。2学期は、保護者との連携を学級通信、電話、家庭訪問や面談でより一層充実させます。学習面では、TTを活用した授業や生徒の自己評価を活用した授業法の工夫を実践していきます。